

# 一般生菌数の確認で、 大幅なコスト削減が期待できます！

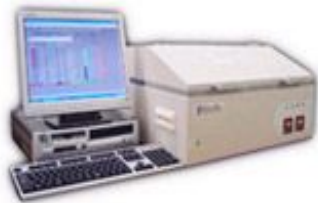


実数計測

- マイクロバイオ社の Biomatic DMCS を使用すれば、
- ・ 検査シャーレ数を **6分の一以下**にできます。
  - ・ 菌数測定は全自動、**カウント時間をゼロ**にできます。
- しかも、遠隔操作も可能になります。  
( 遠隔地からでもアクセスでき、テスト確認ができます。 )

**Biomatic® DMCS** は、公定法の培養を自動化し、正確に計数します。

**一般生菌数測定を全自動・低コスト・高精度 !!**



S-12

48 検体  
処理可能



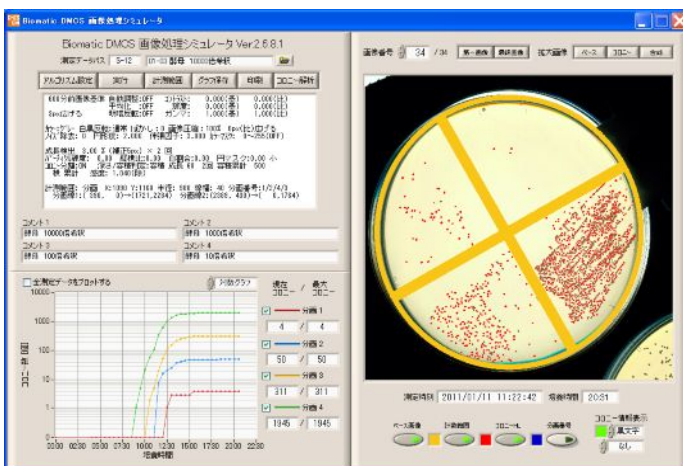
FA-100

400 検体  
処理可能

例)

試料の10、100、1000倍希釈を用意する場合、使用するシャーレ数は3枚必要となります。微小コロニーを検出し、重なり合うコロニーを分離してカウントするDMCSを使用すれば、10、100倍希釈の2枚で安心して計測できます。

現在、1日に100検体ありシャーレを300枚使用されている施設では、この4分画のドロッププレート法を採用すると、**シャーレ数は6分の一の50枚に激減**します。

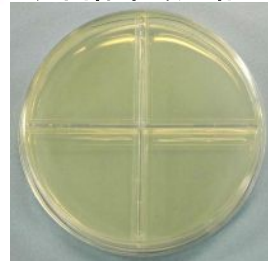


**対数グラフ (ログスケール)** でも表示でき、**最終菌数の判断が楽に**できます。

マイクロバイオは、ドロッププレート法の用途に最適な、試料を分画あたり 200μl 添加できる「標準寒天培地 (XPT001) を用意しています。



4分画標準寒天培地



培地  
だけでも  
OK!

デモなど、お気軽にお問い合わせ下さい！

〒105-0004 東京都港区新橋 5-7-10 新橋 SNビル 1F  
TEL (03) 5425-2161 FAX (03) 5425-2165  
<http://www.microbio.co.jp/>

細菌検査用具・機器、製造販売  
**MicroBio**  
Corporation  
マイクロバイオ株式会社